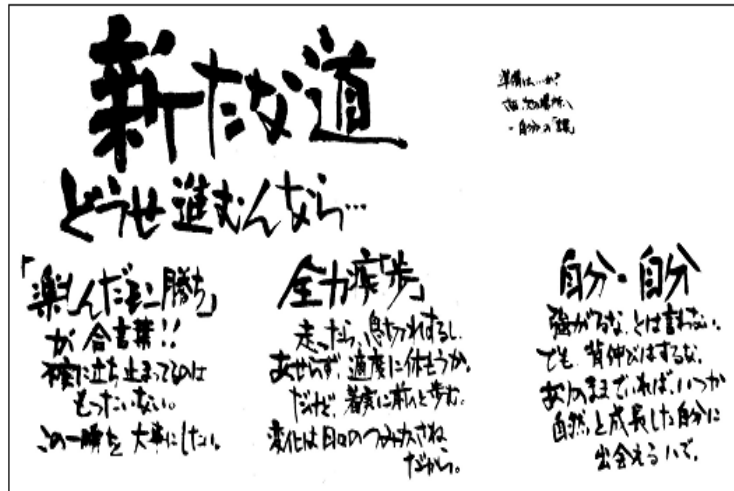
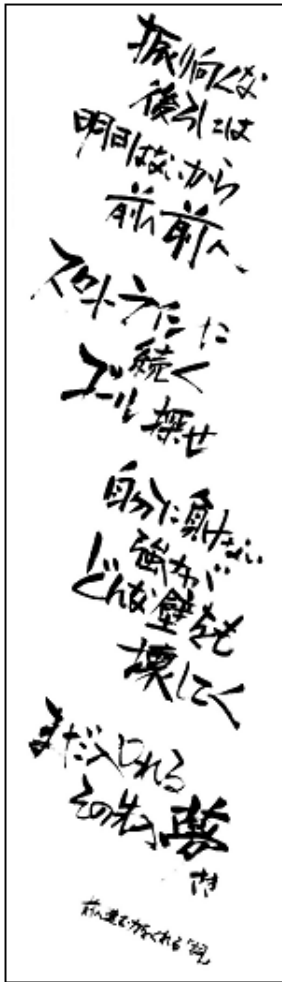


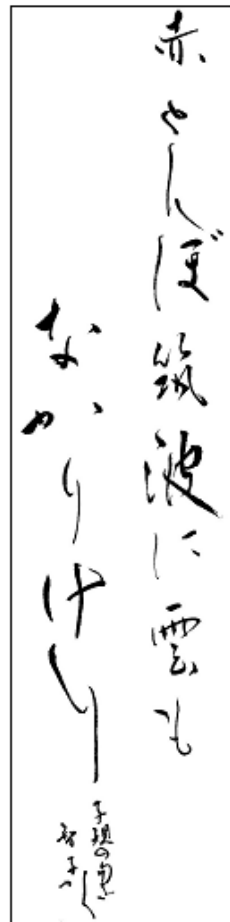
創作 調和体 『言葉×詞||明日へのコトバ』 半切、全紙

来春、新たな道に進む自分へ向けた「言葉」と、途中で立ち止まったとき、前に進めるよう背中を押してくれる「詞(ことば)」を組み合わせてみました。私だけでなく、あなたへの明日の力になれるコトバがあれば幸いです。



創作 調和体 『正岡子規の句より』 半切

「赤とんぼ 筑波に雲も なかりけり」
初夏書展『とどまればあたりにもゆる蜻蛉かな』に続き、トンボの句を書きました。
夏は夕暮れ、秋は空。それぞれ思い入れのある風景です。



調和体 創作 西原理恵子『風』 半切

「ねえ、風はどこからふいてくるの
ずいぶんまえの 君のしつもん。(二部抜粋)」
調和体作品の良い点は、読める、ことだと思っておりますが、自分の場合、文字数が30字を越えて、構成が単調な作品、はメンドクなつて読まないのので考えた結果、構成はこうになりました。一番上の題字(風)が唯一書道部っぽさを醸し出していると思うのですが：如何でしょうか？



三八、仲宗根咲子

創作 篆書『ドライブ』
「旅」

全紙1/2

一回ぐらいは創作を
やろうと思いい、やって
みました。篆書もやっ
たことないので、つい
でにやってみました。

篆書の「旅」に篆書
の「車」が組み込まれて
います。

楽しい思い出がここ
で生まれます。



三九、西原英臣

臨書 楷書・行書・草書 『千字文』 半切三連

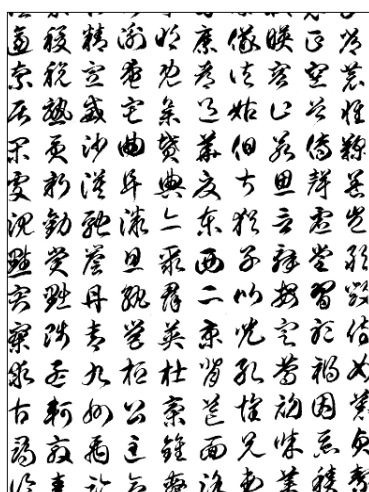
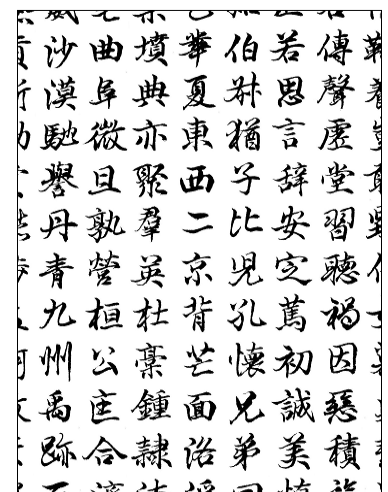
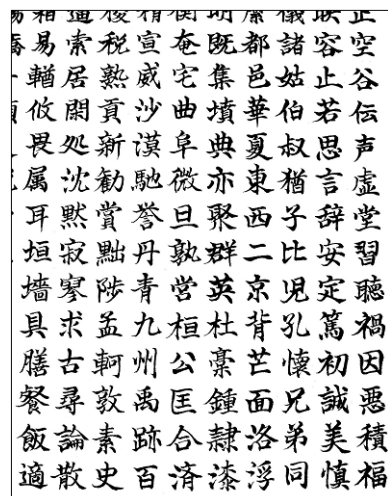
「天地玄黄宇宙洪荒日……一書体合計千字」

今回で二回目の全臨となりました。前回は楷書・行書の二
書体でしたが、今回は草書も含め三書体に挑戦しました。前
回全臨したときは高校一年でしたが、あの時より作品の完成
度は高いと思います。作品製作を通じて今まで以上に忍耐強
く作品に向かい合う事が出来るようになったと思う。

四〇、河野宏明

模刻 篆刻 西川寧『蟬龜』

初心者なので「まず模刻を」
と思い、西川寧の作品に取
り組みました。本物と比べる
と全体的に線に、切れ、のな
い作品になりました。精進し
て篆刻、そして自分自身も、切
れ、があるようになりたいも
のです。



5. 5×5. 5センチ



四一、原山大輝

臨書 行書 欧陽詢『行書千字文』 半切

「天地玄黄宇宙洪荒日月盈昃辰宿列張寒来暑往秋收冬藏閏餘成歲」

作品名上は行書ですが、楷書らしさが残っているため、書いていて基本の大切さを痛感しました。

天地玄黄宇宙洪荒日月
盈昃辰宿列張寒来暑往
秋收冬藏閏餘成歲
大輝 啓

四二、砂川祐子

創作 調和体 『きっかけ』 半切

「書道の楽しさ」を気づかせてくれた思い出の作品です。高校3年生のとき、試行錯誤して書いたことを思い出しながら、今の自分のアレンジで書きました。5年前とどう変わったかは……（聞きたい方は砂川まで）

捨てた限りの夢は逃がさない

四三、河合直樹

創作 行書 『気剣体』 全紙

「気剣体」

剣道において正しい打突の条件を「気剣体の一致」といいます。不意に湧き上がってきた「創作」意欲に総てを任せて書き上げました。荒々しさの残る作品ではありますが、冷静な精神状態にはない生々しさが気に入ったので敢えて出品しました。

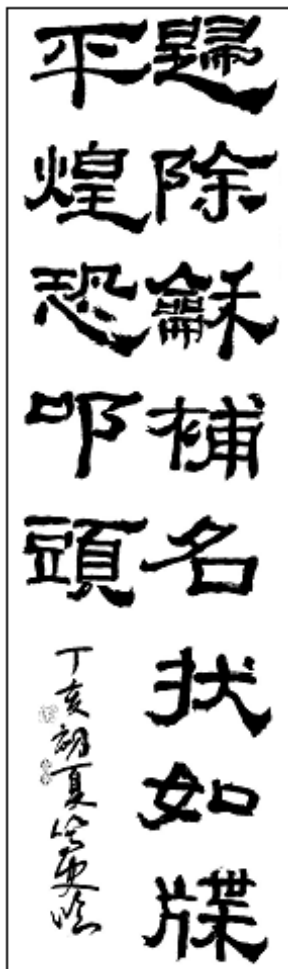
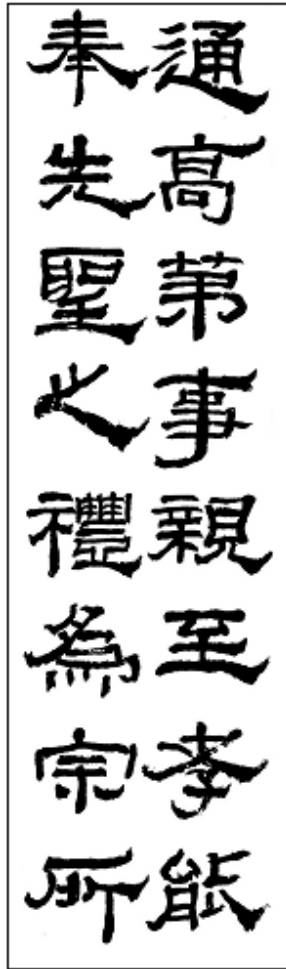
気剣体

四四、木塚篤史

臨書 隸書 『乙瑛碑』 半切二連

「通高第事親至孝能 奉先聖之礼為宗所 帰除蘇補名状如牒 平煌恐叩頭」

久々の隸書の臨書となりました。大学に入って、まず何をしようかと迷っていたら、とりあえず基本に帰ろう！という気になつて書いたのがこれ。乙瑛碑です。重厚かつおおらか。こんな隸書が、私は好きです。

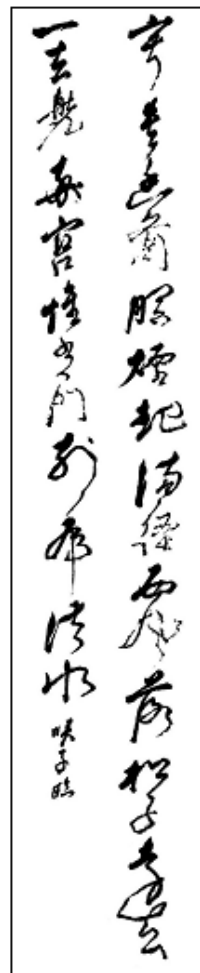


四五、仲宗根咲子

臨書 行草書 倪元璐『行草七言絶句軸』188×40センチ

「寂寞幽斎瞑煙起 満径西風落松子 遠公一去兜率宮 惟有 門前虎溪水」

秀囲気が好きだと思つて挑戦してみたのですが、甘かったです。後悔しました。でもいい思い出になりました。



四六、西原英臣

創作 草書 杜甫『登岳陽樓』 連落

「昔聞洞庭水今上岳陽樓 吳楚東南折乾坤 日夜浮親朋無一字 老病有孤戎馬關山北 憑軒涕泗流」

この詩は杜甫が岳陽樓に上つて洞庭湖を眺めているときの杜甫の心情をうたっているもので杜甫が晩年になってのものである。作品製作で苦労したのは作品の構成をどうするかで、これはやはり創作作品の醍醐味だと思う。

昔聞涸庭石，今上岳陽樓。
吳楚東南拆，乾坤日夜浮。
親朋各一字，老病各孤舟。
戎馬交山心，憑軒涕泗流。

杜甫之詩 吳昌碩